

- 屋上に太陽光パネルを設置。太陽光パネルで得た電力と、購入した非化石証明書付の再生可能エネルギーを活用することで、100%再生可能エネルギーで社内電力を賄う。
- リサイクル素材や天然素材にこだわったサステナブルブランドを確立したことにより、オリジナル商品を作って欲しいといった商談や百貨店との取引が新たに生まれた。

○SDGsに取り組み始めた経緯

・気候変動や地球温暖化については、防寒関連の商品が主力であることから、会社の業績に大きく影響しており、以前から意識は高かった。向かっている方向とSDGsの理念とが合致した。
 ・会社のブランディング活動の一環からSDGsの取組が始まった。はじめに、インナーブランディング（企業が自社の従業員に向けて行うブランディングのこと）に力を入れ始め、その後、アウトーブランディング（消費者や顧客などの社外に向けたブランディングのこと）を行っていったが、アウトーブランディングを手掛けていく中でSDGsを意識し、経営の中で実践していくようになった。

○SDGs経営に取り組んで良かったこと

・リサイクル素材や天然素材にこだわったサステナブルブランドを確立したことにより、オリジナル商品を作って欲しいといった商談や百貨店との取引が新たに生まれた。
 ・メディアに取り上げられる機会が増え、SDGsに積極的に取り組んでいる会社としてのイメージが対外的に浸透し、アウトーブランディングに寄与した。



・メディアへの露出が増え、社員の子もたちにお父さんお母さんがこんな会社に勤めていると知ってもらえる良い機会となった。
 ・対外的に発信することで、会社の取組を知ってもらう契機となり、リクルートの面でも役立っている。

○SDGs経営の実践

・会社負担により、親睦を深めるための旅行、インフルエンザの予防接種といった社員に寄り添った活動を実施。社員のモチベーション維持を通じ、社員を大切にしよう取り組んでいる。
 ・社員が働きやすい環境をいかに提供するか、環境に配慮した商品をいかに作っていくかといったことを大切にしている。
 ・会社の屋上に太陽光パネルを設置。太陽光パネルで得た電力と購入した非化石証明書付の再生可能エネルギーを活用することで、100%再生可能エネルギーで社内の電力を賄っている。



・再生素材や天然素材で作られる商品の開発や、ファッション業界から食料廃棄を再活用するプロジェクトに参画。ゴミを可能な限り削減するため、芯なしトイレットペーパーを導入。
 様々な角度から環境問題に取り組む。



・ペットボトルキャップの回収と寄付を実施する等、国内外の課題解決に向けた寄付活動も積極的に
 行なっている。



○サステナブルなブランドの確立

・再生素材や自然に優しい素材を使用し、廃棄予定の食材を染料として活用。捨て糸などのロスを出さずに製造できるよう研究開発を進め、ゴミを出さない独自の編み立て法で生産するサステナブルな商品を展開している。
 ・愛着のある手袋や靴下のペアの一方だけを販売して欲しいという要望が多くあり、「片方だけ無した」という理由で捨てられることがないよう、片方だけの販売を開始。
 ・永久修理を保証し、モノを大切に長く使ってもらうことで、環境にとって一番優しい取組を実施している。



○SDGs経営の今後の展開予定

・(株)フクシンでの取組を知っていただき、同様に実装していきたいという会社を増やしたい。

○会社概要

香川県東かがわ市に本社を置き、1977年より手袋販売事業者として創業。手袋のほか靴下、ネックウォーマーなどニット製品の製造・卸売を主力に手掛ける。卸売事業においては、買場提案力、販売機会ロスの低減、商品デリバリー力、適正価格の実現化等に注力。地球温暖化が進む中で、天候に一喜一憂せず、自分たちから積極的に環境にやさしい取り組みをしようとして、昨年、新ブランド「ecuvo,」を立ち上げた。